

高岡ロータリークラブ

会長／田中 哲 幹事／山口 洋祐



2024/11/14

No.19

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 車会場監督 点鐘 田中 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト並びにビジター紹介

〔ゲスト〕

高岡商工会議所専務理事 西田隆文様

〔米山奨学生〕

バタラチ アマルバヤスガランタ 君

会長挨拶／報告

■米山奨学生アマラ君に奨学金のお渡し…一言挨拶

幹事報告

■1 番テーブルミーティング⇒本日 18:30～ 「魚人」

委員会報告

■雑誌委員会…ロータリーの友 11 月号紹介

(安田委員長)



ニコニコBOX 12 件 40,000 円



田中会長／名誉会員の前田家 18 代ご当主とお会いできました。お元気で、皆様によろしくお伝えくださいとのことでした。

才高副会長・山口幹事／西田さん、ようこそ高岡 RC へ。永田君／本日の卓話者高岡商工会議所西田専務様、日頃地域活性化にご尽力され大変ご苦労様です。本日の卓話楽しみにしております。

若野君／西田さん、ようこそ！高岡の賑わいを今1度！頑張ってください！期待してます！

津嶋君／高岡商工会議所西田専務さん、どんなお話を頂戴できるのか、楽しみにしております。

藤田君／先日、全生庵平井住職と飲食する楽しい一時を過ごすことができました。平井住職は、東京ロータリーの幹事をされていたそうです。お世話いただいた谷道さん、伏江さんに感謝です。また、本日、元 RC 会員の西田様、ようこそお越しくださいました。卓話よろしくお願いいたします。感謝。

河村君／とうとう伏木で本格的な公費解体が始まりました。これまでの「なんちゃって公費解体」と違い、私も含めてみんな慌ただしくなっています。(少し寂しい感じです。)

山本(毅)君／西田隆文さん、お久しぶりです。卓話楽

しみにしています。

首班指名選挙中にだらしく爆睡できる石破氏の無神経は大したもの。安倍総理や麻生総理には選挙の責任を取って辞任するように迫ったのに、自らは歴史的な大惨敗をしてしても一向に辞任しない理由がよくわかりました。自分は何も悪くないと考える自分勝手な人なのではないでしょうか。日曜日には兵庫県知事選挙があります。パワハラ、おねだり、県民局長を自殺に追いやった等として不信任となった齋藤元彦知事は、冤罪であったことが次第に明らかになってきました。齋藤氏が再選されることを願っています。

竹中君／西田さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

二口君／西田専務ようこそ高岡ロータリーへ。卓話楽しみにしています。今月 16 日に弊社冠試合でリーグ H 富山ドリームス VS 豊田合成ブルーファルコン名古屋の試合が氷見ふれあいスポーツセンターで開催されます。皆さん応援よろしくお願ひします。

山岡君／西田専務いつもありがとうございます。本日卓話よろしくお願ひします。

<プログラム>

卓話

「高岡のシティデッサン

—商工会議所「10 のテーマ」—」



西田隆文様

高岡は県西部の交通の要に位置し、二つの国宝と三つの重伝建地区を持つ歴史文化にあふれ、豊かな自然の恵みを産業に結び付けてきた。高岡商工会議所では、こうした強みを生かすためのシティデッサンを10のテーマに分け、五つの常任委員会で検討している。

建設計画が進む高岡テクノドーム別館について県から複数案が示され、われわれは知事に、コンベンション機能が最も重要と要望してきた。1000人規模のコンベンションを全国から誘致し、本館との一体運用で5000人規模に対応できるようになれば、新高岡駅から徒歩12分に立地する近さから、流入人口は拡大する。コンベンションと合わせた観光資源も豊富だとして、専門業者から高岡は有望だと聞いており、大きな経済効果も期待できる。「別館」という呼び方がよくないという声もあり「高岡コンベンションセンター」などの名称も県で検討していただければよい。

自然と三つの文化、万葉文化、真宗文化、加賀前田文化と、時代区分により高岡の観光は実に多彩だ。ほかに、ものづくりの産業観光、食や祭りなど誇れるものがたくさんある。あいの風とやま鉄道に経営移管するJR城端線、氷見線は直通化することが重要。そうすれば県西部観光の骨格になる。万葉線は氷見線、城端線に乗り入れて延伸を検討すべき。観光客にわかりやすい駅名への変更も進めたい。国土交通省は鉄軌道と観光は相性がとてもよいと言っている。

市庁舎移転については、市中心部に移して高岡駅南北の交流を図りたい。駅南のダイエー跡地約2800坪に市庁舎本体を移し、福祉サービスなどの窓口業務は駅北のウイングウイングや御旅屋セリオなどに機能中心に移転することも議論されている。民間事業であれば、半分を市庁舎、残り半分をホテルといった活用法も考えられる。

高岡の産業はモノづくりの付加価値を一層高め、海外販路の開拓に取り組んでいくことが重要。観光をもう一つの主力エンジンに育て、日本に年6000万人から7000万人訪れる外国人客を取り込みたい。そのためには宿泊施設を作り、飲食、土産物と合わせて産業として成り立たせなければならない。リゾートホテルの誘致を実現するとともに、空き家を活用した街ごとコテージなどの可能性も探りながら、経済の視点からシティデッサンをシティデザインへと具体化していきたい。